



ろれつが回りにくい… これって脳のSOS？

脳神経内科医が教える
緊急性の見分け方

その症状、大丈夫？ #02

医知創造ラボ ～脳神経内科医がAIで紡ぐ最新医療情報～

こんな経験、ありませんか？



話していて舌がもつれる感じがする



電話で「酔ってるの？」と聞かれた



食事中に口の端から食べ物がこぼれる



言いたい言葉がうまく発音できない

「ろれつが回らない」とは？

構音障害（こうおんしょうがい）

言葉を発する筋肉や神経の問題で
発音が不明瞭になる状態

失語症との違い

構音障害: 言葉は浮かぶが
口がうまく動かない
失語症: 言葉自体が出てこない

最重要ポイント

「突然」か「徐々に」か
で緊急性が全く違う

緊急性の分類 — 突然 vs 徐々に

突然発症

数分～数時間で発症

- 脳梗塞
- 脳出血
- 一過性脳虚血発作（TIA）

→ **119番！** 一刻を争う

徐々に進行

数週間～数ヶ月で進行

- ALS（筋萎縮性側索硬化症）
- パーキンソン病
- 多発性硬化症
- 重症筋無力症

→ **早めに脳神経内科へ**

突然のろれつ障害 — 脳卒中を疑え！

「さっきまで普通だったのに急にしゃべりにくくなった」 = 脳の緊急事態

- 脳梗塞は日本人の死因第4位、要介護の原因第1位
- 発症から4.5時間以内なら血栓溶解療法（t-PA）が可能
- 血管内治療は最大24時間以内が適応（条件による）
- 「Time is Brain」 — 1分あたり約190万個の神経細胞が失われる

FASTチェック — 脳卒中を見逃さない

F

Face (顔)

笑顔を作ると片側が
下がっていません
か？

A

Arms (腕)

両腕を上げると片方
が
下がってきません
か？

S

Speech (言葉)

「今日はいい天気」
と言えますか？

T

Time (時間)

1つでも当てはまった
ら
すぐ119番！

徐々に進行するケース — 原因疾患

ALS

(筋萎縮性側索硬化症)

舌の萎縮・線維束性収縮
飲み込みにくさも出現

パーキンソン病

声が小さくなる・単調になる
手の震え・動作緩慢を伴う

多発性硬化症

(MS)

症状が出たり消えたりする
20～40代の女性に多い

重症筋無力症

(MG)

夕方に悪化するのが特徴
まぶたの下がりを伴うことも

その他の原因 — 病気以外も多い



疲労・睡眠不足

筋肉の協調が乱れる。
休息で改善すれば心配不要



薬の副作用

抗てんかん薬・精神安定剤・
抗ヒスタミン薬など



飲酒

アルコールは小脳機能を
一時的に低下させる



義歯の不具合

入れ歯が合っていないと
発音に影響する場合も

⚠️ こんな時はすぐ119番！

1. 突然ろれつが回らなくなった（発症時刻を記録！）
2. 顔の片側が下がっている（口角・目が閉じにくい）
3. 片方の手足に力が入らない・しびれる
4. 激しい頭痛を伴う（経験したことのない痛み）
5. 意識がぼんやりする・呼びかけに反応が鈍い

受診の目安 — 緊急度3段階

● **すぐ119番（救急）**

突然のろれつ障害
顔・手足の麻痺を伴う

→ 発症時刻を記録して
救急搬送

● **早めに受診**

徐々にろれつが悪化
飲み込みにくさも出てきた

→ **1～2週間以内に**
脳神経内科を受診

● **様子見OK**

疲労時のみ・飲酒後のみ
翌日には回復する

→ 生活習慣を見直し
悪化したら受診

要注意！「一時的に治った」場合 — TIA

一過性脳虚血発作（TIA）

ろれつ障害や麻痺が数分～数十分で完全に回復する発作。

「治ったから大丈夫」は大間違い！

TIA後の脳梗塞リスク

48時間以内: 約5%

90日以内: 約10～15%

が脳梗塞を発症

早期受診で予防できる

適切な治療で脳梗塞リスクを

約80%減らせるという

研究結果があります

※ 症状が消えても、必ずその日のうちに医療機関を受診してください

まとめ — ろれつの異常で覚えておきたい3つ

1 「突然」なら
一刻を争う緊急事態

脳卒中の可能性
→ 迷わず119番

2 **FAST**で
脳卒中をチェック




顔・腕・言葉の3つを確認
1つでも異常 → すぐ救急

3 「治ったから大丈夫」
は危険

TIAは脳梗塞の前触れ
症状が消えても必ず受診

ご視聴ありがとうございました

チャンネル登録・高評価よろしくお願いします！

-  ブログ記事で詳しく読む（概要欄にリンク）
-  ろれつ緊急度セルフチェックツール（概要欄にリンク）
-  次回：突然手に力が入らない — 原因の見分け方